

循環器内科

【当院循環器内科の特性】

- 1) 当院は広島市東区の基幹病院であり、東区のみならず安芸郡府中町なども医療圏として抱えており、診療する症例は豊富である。
- 2) 緊急疾患にも対応しているため、循環器内科の醍醐味である急性冠症候群や急性心不全（慢性心不全の増悪）などの循環器の緊急疾患にも経験することができる。
- 3) 冠動脈疾患においては冠攣縮性狭心症の診断および高血圧症における二次性高血圧の診断などの症例も豊富であり、診断を一緒に行うことによりかかる症例の診断法を体系的に学ぶことができる。
- 4) 院内の急変時の対応を学ぶ ICLS コースを院内で定期開催している。興味があれば参加してもらうことにより急変時の対応を学ぶことができる（参加費無料）。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。

きる。

- 5) 循環器内科領域で用いられる主要な検査（心臓超音波検査、心臓カテーテル検査など）について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 循環器内科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。
- 5) クラブ活動、バイト活動をしている場合、その旨を言ってもらっても構わないが、確約はできない。
- 6) 十分睡眠をとって来ること。特に外来中に眠そうな態度は慎むべきである。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日(月曜が休日の場合は火曜日)午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。

これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。

- 4) 水曜日午前の回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に指導医に提示すること。また、月曜日午後（祝日の場合は火曜午後）カンファレンスでは既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】 2023 年度（2024 年度については変更となる可能性あり）

	行事、等	担当	場所	時間
月	刈エンテーション（第1週）	寺川主任部長	病棟カンファレンス室	08:30-09:00
	心臓超音波検査	生理検査技師	心臓超音波室	09:00-12:00
	症例カンファレンス	橋本 部長	外来 24 診	13:30-14:30
火	抄読会	当番医師	病棟カンファレンス室	08:00-08:30
	心臓超音波検査	土谷 副部長	心臓超音波検査	09:00-12:00
	運動負荷検査	当番医師	生理検査室	14:00-15:00
	病棟カンファレンス	寺川主任部長	病棟カンファレンス室	15:00-15:30
水	回診	寺川主任部長	病棟、RI 検査	09:00-11:00
	心臓カテーテル検査	寺川主任部長	血管造影室	13:00-16:30
木	外来診察	寺川主任部長	外来	09:30-11:00
	心臓超音波検査	土谷 副部長	心臓超音波室	09:00-12:00
	運動負荷検査	当番医師	生理検査室	14:00-16:00
金	回診	寺川主任部長	病棟、RI 検査	09:00-11:00
	心臓カテーテル検査	寺川主任部長	血管造影室	13:00-16:00
	カテカンファレンス	寺川主任部長	血管造影室	16:00-16:30
	試問（第2 or 4週）	寺川主任部長	血管造影室	16:00-17:00

【評価】

学生の評価は原則、以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点

カンファレンスでのプレゼンテーション	10 点
学生用カルテの内容	10 点
ポートフォリオの内容	20 点
部長試問	20 点

【実習指導医】

1) 寺川 宏樹 循環器内科 主任部長

専門：虚血性心疾患、心不全

日本循環器学会専門医、日本心血管カテーテル治療学会専門医、日本超音波学会専門医・指導医、日本核医学会専門医、日本高血圧学会専門医・指導医、日本脈管学会専門医、日本動脈硬化学会専門医・指導医、日本心エコー図学会専門医

2) 橋本 悠 循環器内科 部長

専門：循環器一般

日本循環器学会専門医

3) 土谷 朱子 循環器内科 副部長

専門：心臓超音波、循環器一般

日本循環器学会専門医、日本超音波学会専門医

【参考図書、文献】

1) 日本循環器学会の診療ガイドライン一覧の URL

<http://www.j-circ.or.jp/guideline/index.htm>

2) インターネットでの文献検索(医学中央雑誌、UpToDate など)